肝胆管内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添え、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回のご研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

<table>
<thead>
<tr>
<th>研究課題名</th>
<th>消化管粘膜下腫瘍に対するEUS-FNBの有用性の検討</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>研究機関名</td>
<td>愛知医科大学病院</td>
</tr>
<tr>
<td>研究機関の長</td>
<td>病院長 羽生田 泰行</td>
</tr>
<tr>
<td>担当科等</td>
<td>肝胆管内科</td>
</tr>
<tr>
<td>研究責任者</td>
<td>肝胆管内科（職名）医員助教（氏名）井上国央</td>
</tr>
<tr>
<td>試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名</td>
<td>非該当</td>
</tr>
<tr>
<td>研究の意義・目的</td>
<td>消化管粘膜下腫瘍に対して、組織採取用の穿刺針を用いた超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNB)の有用性を明らかとすることを目的としています。</td>
</tr>
<tr>
<td>対象となる患者さん</td>
<td>愛知医科大学病院にて、2010年以降に消化管粘膜下腫瘍に対して超音波内視鏡下穿刺吸引法を受けられた患者さん。</td>
</tr>
<tr>
<td>研究の方法</td>
<td>診療録（カルテ）から、超音波内視鏡下穿刺吸引法に関する情報を収集し、EUS-FNBの有用性を検討します。利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また研究の結果が学会や医学論文などで公表される場合がありますが、患者さん個人を特定出来るような情報は一切含みません。研究計画や研究の方法についての資料を入手・閲覧することを希望される場合は担当医師にその旨をお伝えください。個人情報保護やこの研究の実施に支障を来さない範囲で掲示いたします。</td>
</tr>
<tr>
<td>研究期間</td>
<td>倫理審査承認日 ～ 2019年3月31日</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 研究に用いる試料・情報 | 情報：診療録に記載された情報、血液検査結果、病理組織検査結果、画像データ等。
<p>| 外部への試料・情報の提供 | なし |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。 |
| その他 | 愛知医科大学 |
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学 |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th>医学部内科学講座（肝胆膵内科）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>担当者：（職名）医員助教 （氏名）井上匡央</td>
</tr>
<tr>
<td>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</td>
</tr>
<tr>
<td>電話 0561-62-3311（内線 23480）</td>
</tr>
</tbody>
</table>